

海老名市立大谷中学校 学校運営協議会 議事録  
(令和5年度 第2回)

- 1 日 時 令和5年12月12日(火) 14:00~15:15
- 2 場 所 海老名市立大谷中学校 校長室
- 3 出席委員 熊澤美恵子委員長、菌口美佐子委員、遠藤俊枝委員、岩崎佐容子委員  
吉田存委員、吉田守委員、村松かおり委員、大矢貴史委員  
(記録 竹島和也教諭)

4 会議の内容

(1) 授業参観 (参観後の感想)

村松委員：コロナが5類になり、通常の活動を規制なく行えるようになった。

吉田存委員：昔と違ってグループワーク等が行われ、楽しい授業と感じた。

菌口委員：「脱チョーク」の授業ということでは。

吉田守委員：(廊下掲示の) AWARD、よい取り組みだ。共感からつながりが深まる。

菌口委員：自分の娘の時もやっていたよかった。活躍している生徒ばかりでなく、自分自身のことももっと褒めてあげてほしい。

村松委員：自己肯定感の低さは、本校の生徒の課題でもある。

岩崎委員：自分の子どもを上手に褒められる親はどれくらいいるのだろう。

熊澤委員：以前参観した時は「お行儀が良い」というイメージだったが、今回は生徒が伸び伸びと授業を受けているイメージを受けた。

菌口委員：静かに聞いているが「わかっているのかな？」という生徒がいそうな授業もあった。(AWARDは) 掲示されていない生徒の中にも評価できる子はいるのではないか。

村松委員：生徒が仲間をどのように捉えるかは、大人の関わり方の影響もある。

竹島教諭：「見方」については、日常的な教師のアプローチが重要。

吉田存委員：上級生になると視野が広がってくる。

村松委員：自分や他者の姿を客観的にとらえる力は、自立していく上で大切。

吉田守委員：大谷選手のマンダラ。生徒にもやらせてみるのはどうか。

竹島教諭：部活動ではあるが、実施したことがある。効果があった。

(2) 2学期の報告

ア 合唱祭(9月27日)：2年5組が学級閉鎖になり、後日校内で学年合唱祭を実施。

イ 体育祭(10月17日)：好天に恵まれ、学年を越えたつながりが深まった。

ウ 1年稲作・稲刈り(10月30日)：好天に恵まれ、精米・配付の準備がすでに終了。

来年度も稲作は総合的な学習に位置付けて実施。

- エ 2年横浜校外学習(11月24日):今年度の新機軸。学びのアップデートを目指す。
- オ PTA 広報誌: 体育祭特集号を作成。12月中に全校生徒へ配付予定。
- カ 大谷小祭り: 本校合唱部が参加し、小学生の前で2ステージ出演した。

### (3) その他・情報交換

- 10月23日(月)「海老名市コミュニティ・スクール連絡会」の報告  
中学校区での話し合い。様々な意見が出ていて有意義だった。
- 令和6年度 学校運営予算について(大矢教頭から説明)
  - ・学校運営協議会での予算計画の説明・協議が必要となること
  - ・大谷中学校の特色ある取組み(R5)
    - ① 稲作体験活動
    - ② PC室→リモート配信室として整備
  - ・令和6年度 学校運営経費申請予定項目
    - ① 地域力を活用した稲作体験活動
    - ② 体験活動を重視した魅力ある授業
    - ③ より良い学校環境の充実
    - ④ 生徒の主体的な活動を重視した学校行事の充実
    - ⑤ 校内研究の充実
- その他
  - 菌口委員: 稲作の取組み、収穫祭(もちつき)は感染対策でなくなったのか。  
日本文化の継承・地域との連携という点での意義もあったのでは。
  - 村松委員: 稲作体験を総合的な学習に位置付け年間計画を立て、持続可能な方法で継続する上で、現時点ではもちつきの実施は考えていない。地域との連携を今後どうやって図っていくかは、課題となっている。

## 5 連絡

- 第3回 学校運営協議会 2月下旬~3月上旬で、後日調整
  - ・令和5年度 学校評価について
  - ・令和6年度 学校経営方針について
- 令和5年度 卒業式 令和6年3月12日(火) 午前  
令和6年度 入学式 令和6年4月5日(金) 午後
  - ・来賓として臨席を依頼
  - ・後日案内通知を発送